

「一致の基礎」(その第Ⅰ「望みが一つ」) エペソ4：4 堀田修一 19・11・24

「あなたがたが召された(神が私達を救いに呼び出された)とき、召し(神の呼び出し、招きによる救い)のもたらした望みが一つであったのと同じです」。神は、神の教会の一致を大切にされ喜ばれる。教会の一致は、父、子、聖霊の三位一体の一致の御姿の反映という大切なもの。4-6 節で、一致の基礎が、7 つ語られる。聖書で7は完全数。

I 現在、今も与えられる望み。人は真の希望なくしては、生き生きと生きられない。私達は、神から素晴らしい望みが与えられている。感謝! 「望みが一つ」である事実が、私達の一致の土台。

1. 父なる神の愛を土台とした望み、希望。神に愛されている望み、希望。

「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」イザヤ43：4。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」ヨハネ3：16。

2. イエス・キリストによる恵みを土台とした望み、希望。主が私達のすべての罪を負い、身代わりに十字架で刑罰を受けて下さったので、私達の罪は、完全に赦されるという恵みによる望み、希望。主を信じると、罪の赦しだけではなく、永遠の命(永遠に神に愛され、神と交わり、神を知り続ける命)が、今も与えられているという恵みから来る望み、希望。主を信じ洗礼を受けた後も、自分の罪をごまかさず、正直に告白、おわびするなら、神は私達を赦し、きよめ、受け入れて下さる恵みによる望み、希望。

「もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます」Ⅰヨハネ1：9。「御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます」1：7。

3. 聖霊様による交わりの恵みを土台とした望み、希望。聖霊なる神は、神との交わりと私達の互いの交わりを導いて下さる。聖霊が生み出される交わりの恵みにより望み、希望が与えられる。内住の御聖霊による現在進行形の望み、希望＝「私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです」Ⅱコリント3：18

4. どんな時も主が共にいて支えて下さる望み。「見よ。わたしは、世の終わりまで(世の終わりには、主が再臨され、永遠に共にいて下さる)いつも、あなたがたとともにいます」マタイ28：28。

5. 思い悩み、絶望しそうになる時、信仰の目で神を見上げ主の数えきれない恵みを数え感謝する時、望み、希望が与えられる。神を忘れる時、ますます、希望失い、落ち込んでしまう。そんな時、慰め主、聖霊様は、私達の心と考え方を変えて下さる。この地上で生きる限り、問題、課題、苦しみのない人はいない。主は、正直に言われた。「あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです」ヨハネ16：33。問題、患難は皆に、やって来る。問題、困難以上に大切な秘訣がある。それは、その問題、課題を、どう受け止めるか? どう考えるか? それらにどう反応するか? が、人生の鍵! どんどん悪く考え、絶望を選ぶか? どんなに辛い中でもすべてを支配しておられる神を見上げ、神に拠り頼み、神による望み、希望を持って生きるかを選ぶのは、あなた自身、私自身。その良い方の選択を助け主なる聖霊に頼るなら、良い応答、選択ができるように助けて下さる。神を恨み、

人を恨み、ねたみ、自己憐憫の人生か？それとも神を信頼し、現状と自分を受け入れ、人を赦し、神と共に歩み、神に祈り、日々神から希望をいただいて生きるか？「いつでも祈るべきであり、失望してはならない」ルカ18：1。神を見上げると希望が湧く！

6. 「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益（主の姿に変え続けて下さる、神の御業の前進）としてくださる」ローマ8：28の御言葉は、私達に、望み、希望を与える。

II 将来与えられる確実な望み、希望

1. 「私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。キリストは、万物に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じに変えてくださるのです」ペリピ3：20，21。

2. 世の終わりに正しい裁きを神がなさるといふ御言葉の事実立つ望み、希望。この世は、不当な裁判、不条理、間違った指導者、人々による残虐な行為、戦争（戦争に突入すると、軍隊は、人を殺す事への抵抗感がないように訓練される、多くの人々の良心の識別力もおかしくなっていく。私を含めて。人は弱い。だから正義と愛の神を信じる必要がある。戦争をする国にならないように祈りたい）が絶えない。神から離れた人間の罪の姿。真の正しいさばきと正義の復讐は、神がなさる。「自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい。それは、こう書いてあるからです。『復讐はわたしのすることである。わたしが報いをする、と主は言われる』ローマ12：19。人のさばきは神に委ね、まず自分自身の罪を日々悔い改め、主を待ち望みたい！

3. 私達は、いつか死を迎える。私達にとり死とは、滅び、地獄に行く事ではなく、天国に行ける、主に迎えられ、永遠に主と共にいるという恵みによる望み、希望。「私の願いは、世を去ってキリストとともにいることです」ペリピ1：23

4. 「キリストが現れた（再臨）ときに、キリストに似た者になることは知っています。キリストをありのままに見るからです。キリストにこの望みを置いている者はみな、キリストが清い方であるように、自分を清くします」Iヨハネ3：2，3

5. 「忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと、私たちは知っているからです。この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちに注がれているからです」ローマ5：4，5